



# いしのまき



## 年頭のごあいさつ



石巻市長  
齋藤 正美

新年明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ウクライナ情勢などを背景とした物価高・円安などによって、生活に直結する電力・ガス・食料品などの値上がりが続き、市民生活や経済・社会活動に大きな影響があった年でした。

新型コロナウイルス感染症では、新たな変異株の発生などにより、感染再拡大といった状況もありましたが、市民の皆さまお一人おひとりが感染対策を徹底していただきましたことにより、行動制限のない年となりましたことに感謝申し上げます。

こうしたなか、本市最大のイベントであります「石巻川開き祭り」は規模を縮小しつつも3年ぶりに開催され、小学生鼓笛隊・レードや孫兵衛船競漕、花火大会といった主要行事が復活し、取り戻した夏のにぎわいには非常に感慨深いものがありました。

ほかに、「フェスティバル・イン・かほく」や「おかつ海鮮まつり」、「北上にっこりまつり」、「牡鹿鯨まつり」など祭り・イベントの開催が地域の魅力を創出し、にぎわいへとつながり、久々の地域の明るい話題に沸き立ったものと思えます。

また、宮城、岩手両県の2市3町の文化財群で構成されていた日本遺産

「みちのくGOLD浪漫」に、本市の「金華山詣」と「金華山道」が追加認定され、新たな観光資源として、交流人口の増加による地域活性化につながるものと期待しております。

さらに、昨年3月には、門脇地区と湊地区を最短で結ぶ「石巻かわみなと大橋」が開通し、生活の利便性の向上、物流の効率化・円滑化が図られ、今年3月には、中心市街地の北上川沿いに整備を進めている「仮称かわまち交流広場」が完成いたします。市民の皆さまの憩いの場として、また、イベントなどの開催場所として「水辺の緑のpromenad」との一体的な活用により、にぎわいと魅力の創出に繋がってまいります。

加えて、今年は、「石巻川開き祭り」が節目の100回目を迎えます。各種の祭りやスポーツイベントなどの開催による交流人口の拡大を図っていくほか、移住・定住促進のための各種事業を展開するなど、本市最大の課題である人口減少対策にも鋭意取り組んでまいります。

そして、震災から12年を迎える今年3月には、ハード面に係る復興事業が完遂いたします。今年の干支「癸卯（みずのとう）」には、「これまでの努力が花開き、実り始める」の意があるとか、本市の更なる発展に向けて、オール市民で「住むことに誇りを持てるまちづくり」を目指してまいります。

結びに、本年が皆さまにとりましても、希望の持てる年になりますことを心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。



石巻市観光大使

撮影場所  
日和山公園